

「パルシステム給付型奨学金」

募金へのご協力をお願いいたします。

もっと、学びたい。

若者の これからを 支える。

パルシステムは「共生の社会づくり」をめざします

コロナ禍で困窮する若者が増えている現在。家庭環境や経済的な理由で大学への進学や就学の継続が困難になっている若者を対象に、パルシステムの給付型奨学金制度が始まります。

めざしているのは、単なる奨学金給付にとどまらない「伴走支援」。定期的な生活・進路相談などの精神的サポートも行うことで、奨学生一人ひとりと信頼関係を築き、将来的な自立に向けて支援をします。

募金のお申し込み

毎月募金 奨学生応援サポーター

奨学生に対して、伴走支援者が精神面のサポートを実施するだけでなく、組合員もサポーターとして毎月の応援募金で支えていく、ともに助け合う仕組みです。奨学生にとって「多くの大人や団体に支えられている」という実感とともに、生活していくうえでのモチベーションにもつながります。多くの組合員のみなさまのご参加をお願いします。

1口 100円 **190454**

- 申し込み : 注文用紙またはインターネット注文画面の6ケタ商品注文欄に、注文番号「190454」と、「数量」記入欄に口数をご記入ください。
※毎月、2回週までに募金登録された方が、当月の請求対象となります。
※登録したいときはいつでも、この番号から登録できます。口数の変更も随時可能です。
- 募金の停止 : 注文番号「190462」と、「数量」記入欄に「1」をご記入ください。(「毎月募金」を再開する場合は、改めて「190454」の記入が必要です)

いつでも募金 現金またはポイントで、1回ずつの募金もできます

現金

1口 300円

190411

1口 1000円

190420

ポイント

1口 300ポイント

190438

1口 1000ポイント

190446

① 返済不要の「給付型」

対象者には期間中、
毎月4万円を給付します。

(在籍する教育機関の所定修学期間)

経済的に困難な状況にある学生は、多くの不安を抱えています。実質的な「借金」として将来に影響を及ぼす貸与型ではなく、返済不要の給付型で、奨学生をサポートします。

② 募金は 伴走支援者も支えます

伴走支援として、
毎月の**生活・進路相談**や
電話での現状確認など
精神的サポートをセットで実施します。

※給付する奨学生の募集人員は、パルシステムの理事会で毎年度決定します。また、募金の管理・運営は、「パルシステム給付型奨学金運営委員会」で行います。
※この募金で集まったお金は奨学生の奨学金として活用されるほか、一部は奨学生の伴走支援等の事務経費に活用します。
※今回の募金は、2021年4月分以降の奨学金に使用されます。

※「毎月募金」は「パルシステム奨学金 奨学生「毎月」応援募金」、「いつでも募金」は「パルシステム奨学金 応援募金」とお届け明細に記載されます。

「自立を応援する伴走支援」を通じて 若者たちの未来を守り、育みます。

「自分の人生を、 自分の力で 切り開きたい」

奨学生／大学4年
Aさん

パルシステムでは2019年度からモデル事業として奨学金の給付活動を開始しました。奨学金は現在、4名の学生に支給しています。



奨学金の取り組みを
動画でも
紹介しています

教師をめざしています。

自分の子ども時代、すてきな先生と出会って、私も子どもたちの成長に少しでも関われる仕事に就けたらすてきななあ、と思って志しました。

私の実家では母の病気の治療費のこともあって、高校時代からずっと学校とバイト先を往復する毎日で、バイト代はすべて家計に消えていく日々でした。もっと勉強に集中したい一方で、家族も支えないといけない。そんな人生に疑問を持つこともなく、一日一日が過ぎていきましたが、ある時「学校の先生になろう」と決意。働いたお金で大学に進みました。

大学ではバイトと授業で精いっぱい。次第に学費の工面がむずかしくなりましたが、「ちゃんと自分のためにお金と時間を使わなくては」と考えるように。そのきっかけを与えてくださったの

は、大学の先生でした。

先生に紹介いただき、いま伴走支援をしてくださっている団体さんと出会いました。進学のこと、ひとり暮らしをして自立する決心も含めて、私の人生の“伴走”をしていただきました。

そして支援をいただくなかで出会ったのが、パルシステムの給付型奨学金。貸与型奨学金とアルバイトで学費と生活費を工面していたので、いつも「アルバイトをしなければ!」という焦りがありました。給付型奨学金のおかげで、授業や実習でアルバイトができなくても経済的な不安を感じずに勉強に打ち込めて、とても感謝しています!

いま日本では、同じように経済的な問題から進学に躊躇する同世代が多いと聞きます。ひとりでも多くの仲間が、この奨学金で人生の可能性を広げられたらいいな、って思ってます!

日本の 若者世代の現状は…

子ども※の相対的貧困の割合

※17歳以下

約**7.4**人
に1人

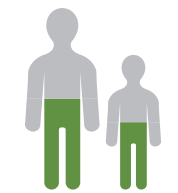
出典：厚生労働省
「2019年 国民生活基礎調査の概況」



ひとり親世帯の相対的貧困率

48.1%

出典：厚生労働省
「2019年 国民生活基礎調査の概況」



2020年度末に経済的理由による
休学・退学増加を予想している大学※の割合

※私立大学

35%

出典：朝日新聞社、河合塾
2020年度「ひらく 日本の大学」



私たちが「パルシステム給付型奨学金」を応援しています



日本では現在、
生活に困窮する
子どもたちが
増えています

津田塾大学客員教授、元厚生労働事務次官

村木 厚子さん

子どもたちが困窮する要因は、家族の収入といった経済的なものだけではありません。家庭での虐待、病気による孤立など抱える事情はさまざまです。困窮によって学ぶ機会を失うと、将来も低い賃金で働き、その子も同じ境遇に陥る可能性が高まります。

こうした「貧困の連鎖」を断ち切るには、経済的な支援はもとより、併せて悩みや不安を分かち合いながら解決の手立てをともに考える存在が不可欠です。

私も、高校、大学と奨学金に助けられたので、その重要性がよくわかります。パルシステムの給付型奨学金が、すべての子どもたちが安心して学業に専念できる社会の実現に寄与することを期待しています。



若者たちの
生きる力を取り戻す
支援は大人の責任

弁護士、一般社団法人若草プロジェクト理事

牧田 史さん

今この日本では、さまざまな事情で“生きる力を育めなかった若者たち”が増えています。彼らは経済的な問題に端を発し、どうやって社会に助けを求めればよいか、その方法さえわからずひとり悩んでいる子どもたちです。私は法律家として、そんな子たちに命を紡いでほしい一心でサポート活動に取り組んでいます。

私たちが“顔の見える存在”になってあげるだけで、彼らは力を取り戻します。社会には自分を応援してくれる大人たちがいるんだ、人生はもっと可能性があるんだ、そんな当然の権利を感じてもらうためにも、パルシステムの給付型奨学金はもっともっと広がってほしいですね。

パルシステムグループではこのほかにもさまざまな学費助成の仕組みづくりに取り組んでいます

神奈川ゆめ奨学金

パルシステム神奈川

神奈川県に住む生活困窮家庭の子どもの高校就学を支援することを目的に、奨学金と卒業時のお祝い金を給付する制度。学習支援や交流会も実施しています。

こども・若者未来基金

パルシステム千葉

児童養護施設や里親家庭に暮らす子どもの自立を支援するため、ひとり暮らしの住宅・生活資金や、入学時の一時金などをサポートする制度です。

学ぶ・働く

株式会社パルライン※

給付型奨学金付きのアルバイト制度。経済的な不安をもつ学生に、学業を中心としながらも安定した仕事を提供することで、暮らしをサポートしています。

※パルシステムの配達業務を担当するグループ会社

★この3つの取り組みは、各会員生協、グループ会社が独自に実施しているものであり、今回の募金の対象には含まれません。

組合員のみなさまのご協力とご支援をお願いいたします。

【お問い合わせ】

パルシステム生活協同組合連合会 地域活動支援室

TEL 03-6233-7235 MAIL nonbil@pal.or.jp